



茗溪 かながわ

MEIKI KANAGAWA

NO.12

発行 神奈川茗溪会 (旧 茗溪会神奈川支部) 発行者 矢野正人

平成30 (2018) 年 6月

茗溪かながわ 第十二号 の発行に際して

神奈川茗溪会会長 矢野 正人

五月二十四日に本部総会が開催されました。本会から代議員として六名の方が選出され、参加されました。紹介させていただきます。

- 佐々木悦子氏 (s 46 教体)
- 本木 幹雄氏 (s 50 教健)
- 山崎 紀彦氏 (s 53 教院農)
- 大畑多津雄氏 (s 52 教数)
- 大石 進氏 (s 56 筑体)
- 中道 徹氏 (s 57 筑二生)

今年度から二年の任期ですが、よろしくお願い申し上げます。

さて、清水前会長の意向により『茗溪かながわ』を発行し始めて十二号を数えます。年二回の発行ですから六年目となります。

発行の目的は、会の様子や会員の近況をお知らせし会員の絆を強め、会の活性化を図ることでした。

年二回の郵送ですが、二〇通ほどが「宛先不明」で返送されてきます。物故のお知らせ、県外転居退会の連絡もございます。毎回五〇通ほどが郵送分で減少していきます。減少分を補うだけの新規加入があればいいのですが、そうはなりません。

今回で郵送件数は一千通を切っていました。

私が事務局長として支部に関わらせていただいたのは川田氏が鶴川氏から神奈川支部長を引き継がれた頃(平成十二年)でした。

その頃の全国の正会員は二万人千人ほどで、会費納入率も三〇%を超えていましたが、その十年後は正会員が二万二千人、会費納入率は二〇%前後となっております。

先の本部資料では、正会員一万八千人、会費納入率は十%をかうじてキープしている現状です。なかでも神奈川支部の納入率の低さは際立っていました。

このような現状を目の当たりにして、これまで神奈川支部に関わらせていただいた者として責任を痛感するとともに、打開策を講じたいという思いで一杯です。

一昨年、清水前会長から任を引き継ぎ、副会長や事務局長とともに、受け継いだ課題に取り組みでまいりましたが、充分といえず、忸怩たる思いでございます。

同窓ゴルフコンペ、小さな地域の会合、茗溪会館での教員採用試験対策など、新規に始めた事業は継続できる方向が見えています。

組織の整備や新規事業を展開しながら、会の活性化と会員の増加を願うばかりです。

神奈川茗溪会 親睦ゴルフコンペの開催

神奈川茗溪会の新たな事業として、昨年の総会の席上及び前号で紹介させていただき通り、昨年十月三十日(月)、秦野の「東京カントリー倶楽部」(秦野市寺山一四五〇)で行われました。

初めての試みということで、今回は「桐心会」(本会の体育学部同窓会)のご協力を頂戴して実施いたしました。

当日は台風一過の爽やかな秋空となりました。参加者十二名は、パッティンググリーン横で打合せの後、四人一組の三組で、八時にスタートしました。組合せは以下の通りです。

共通の楽しみを通して、これまで触れ合う機会がなかった先輩方も顔見知りになり、十分な親睦が図られたと感じています。民間企業、行政、私学に勤務している方など、これまで本会の活動になかなか加わっていた方々も

「ゴルフ」というツールを介して親睦を深め、結果として神奈川茗溪会の活性化が図られることを期待するばかりです。

コンペの後のパーティーで、翌年の同時期に継続

実施することが確認されました。次回は大会への参加方法を工夫して、より広い同窓に声をかけられたらと考えています。その際には奮ってご参加いただきますようお願い申し上げます。

- 【一組】 大辻 昇 新木 康稔 大畑多津雄
- 落 信久 大塚 哲 坂本 紀典
- 高橋 正一 佐藤 公一 安藤 彬
- 熊沢 茂 鈴木 中 矢嶋 博
- (敬称略)



神奈川で開かれた茗溪のつどい 若手交流会

若手交流会（若手の会）は、平成年代の卒業（修了）生を対象とした交流会です。十一月の第三土曜日、横浜の中華レストランが会場と決まっています。

大学関係者、研究者、企業人、行政職、高校教員など多士済々のメンバーが集まります。お子様連れでご夫妻参加の方もいらつしやいます。

昨年は六回目の会合でした。初めてご両親に連れてこられた時は小学生でしたが、早いもので高校生になつてい



ました。

当日は、今年三月に卒業予定の筑波の学生も参加しました。

また、勤務先が異動となられた同窓も遠方（名古屋）から駆けつけてこられました。

常連の他に新たな参加者も加わり始めています。二次会も恒例となりました。二十人から三十人へと、若手の輪が広がり、様々な業界といった豊かな色彩も加わり、年々盛況となつていくことを願うばかりです。

校長・副校長・教頭・総括教諭・行政職の会

十二月十六日、佐藤氏（横浜翠嵐高等学校校長）と林氏（大和高等学校長）の両人を発起人として、標記の会が開催されました。来賓として矢野会長、川田顧問をお迎えし、藤沢の割烹『若狭』の日本情緒たつぷりのお座敷で、会は進行しました。出席者は、昨年度ご退職された二名

を加えて二十三名でした。

ご退職者を本会では卒業者と呼びする恒例ですが、会の途中でまず西塚氏、続いて三橋氏から卒業のご挨拶がありました。内容は、次頁に紹介させていただきます。

その後、参加者から近況報告がありました。学生時代の思い出話が続き、学生宿舎でのエピソードなどが披露されました。昨年度から、会員はすべて筑波大学の卒業生となり、かつては中華街の本店で多数の参加者を得て開催していた本会も、参加人数の減少傾向は否めません。しかし、そんな流れを吹き飛ばすかのように、中野氏（麻生総合高等学校校長）の司会の声に導かれて、宴は華やかに進み、宴の最後には円陣を



組んでの宣揚歌斉唱、そして大石氏（城山高高等学校長）によるエールが行われました。今年度は行政職の出席がありませんでしたが、今後、この会が、教育局と学校との円滑なやりとりはもろろんのこと、各学校の管理職やリーダー職員の情報交換の場として活用されることがますます期待されています。

この会合が神奈川の公教育の発展に資するものとして末永く継承されることを祈念し、神奈川茗溪会事務局長でもある加藤氏（新城高等学校校長）の挨拶を閉めに、お開きとなりました。

http://www.cosmo-tree.com

鍼灸院 秀鳳 SHUHO

秀鳳は本治法を基本とする本格的な鍼灸院です

e-mail info@cosmotree.com

健康をトータルにデザインする

素敵な人生を設計するために健康をデザインしてみませんか？
健康“管理”という発想から一歩踏み出して自分のからだを新たに生かす楽しさを『鍼灸院秀鳳』で味わってみませんか？

バランスのとれたからだをいきいきした日々を手に入れていただけますよう秀鳳スタッフが笑顔でお手伝いいたします



秀鳳院 ☎042-742-3332
〒252-0303
相模原市南区相模大野 6-8-7

大野院 ☎042-815-3003
〒252-0303
相模原市南区相模大野 3-10-1

橋本院 ☎042-815-8749
〒252-0303
相模原市緑区橋本 5-1-5

横浜院 ☎045-514-3882
〒252-0303
横浜市中区築港茅ヶ崎中央 41-15-201

○診療日と時間（予約制）
火曜日～土曜日 9:00～20:00
日曜日 9:00～16:00

○診療料金 ＊初診料は別途
18歳以上 5000円（消費税込み）
18歳未満 3000円（消費税込み）

AE えびあや 検索

AE 海老名・綾瀬法律事務所
弁護士 中道 徹（神奈川県弁護士会）

お気軽にお問合せください！
046-205-3780
〒243-0432 海老名市中央1-8-3 えびすビル4階

親身に対応します

茗溪の水

金融機関を経て教職へ

平山明広(H22人文)



この度、諸先輩のあたたかいお気遣いにより「茗溪かながわ」へ寄稿させていただく運びとなりました。拙筆ではございますが、卒業後から現在に至るまでのご報告を申し上げます。

現在、県立座間高校で国語科教諭として勤めております。元々、教員を志していたかという点、実はそうではありません。大学卒業後に教職へ向かう転機があったのです。

平成二三年に筑波大学を卒業後、神奈川県金融機関に就職いたしました。それと同時に、母校である神奈川県立希望ヶ丘高校の剣道部コーチとしてお誘いを受けました。

平日は会社に勤務し、休日は先輩とともに剣道に汗を流す日々を送る中で、高校生の心身の成長に携わる「教育」の素晴らしさに惹かれていきました。日を追うごとに教員の夢が膨らむ反面、ある

懸念が私を蝕んでいきました。私は教員免許を持っていませんでした。悩みに悩んで周りの方々と相談を重ね、教員免許を取得するため、筑波大学へ再入学する決心をしました。

三年間の勤務を経た平成二六年七月に退職。同年十月に科目等履修生として再入学し、国語科の免許を取得のため、二年半の間を勉学に励みました。

その期間、たくさんの先輩方にお力添えいただきました。故・清水進一先輩、大畑多津雄先輩、望月正大先輩、松澤直子先輩をはじめ、多くの先輩方との縁なくして、今の私はありません。

そして一昨年十月に神奈川県より採用を頂き、現在に至ります。座間高校では、一学年の国語を担当し、部活は剣道部顧問として充実した日々を送っております。

末筆ながら、支えてくださったすべての皆様に心より御礼申し上げます。未来を担う子ども達の育成に尽力してまいります。

第二の人生に向けて

西塚祐一(S55筑体)

平成二九年三月三十一日。三七年間の教員生活に終止符を打ちました。思い起こせば、筑波大学の三期生として卒業し、昭和五五年四



第6回富士山マラソンで自己ベストの3時間54分09秒(サブフォー達成)でゴールしました

月に県立荏田高校をスタートに、教員として十四年間、教育行政に十四年間、管理職として九年間の計三十七年間、多くの茗溪の諸先輩方にお世話になりながら、充実した日々を送ることができました。改めて心より感謝申し上げます。

実は、先日(一月二〇日)、筑波大学スポーツ(旧体育)社会学研究室内の卒業論文&修士論文発表会に三八年ぶりに行って参りました。第二の人生を迎え、もう一度、

学生時代に、教授や仲間達と将来の体育・スポーツの振興・発展に熱く議論を交わした頃の気概を思い出したいの思いました。学生の卒論や院生の修論は、SNSやスポーツバー等に関する新たな視点での研究があり、時の流れを感じました。発表会の最後に、学外からの参加者に講評を求められ、私からは、筑波大学の創生期の思い出話に加え、私が今日まで筑波大学の前身である東京教育大学の先輩に大変世話になったこと、そ

して、それは、教育者の多い茗溪の伝統として、面倒見が良い先輩が多いことを話しました。現在は、二四〇名の卒業生の内、教員になるのは三〇名弱ということでしたが、今や筑波大学の卒業生は、様々な分野で活躍しています。私が筑波大学の同窓生が共通で持っている特徴として、生活拠点が大学内(学生宿舎)、また、その周辺にあることから、筑波大学の卒業生は、茗溪の同窓としての絆はより強いはずと思っています。

神奈川茗溪会も、現役は筑波世代となりました。様々な職種に散らばり、なかなか同窓の絆を確かめることが難しくなりましたが、それゆえに、筑波大学の卒業生としての誇りを忘れず、これからの第二の人生でも、自らの健康の保持増進と体力の維持向上を図りながら、後輩達の活躍を影で応援し、同窓の絆を大切にしたいと思っています。

教職三八年を振り返って

三橋史朗(S54筑一自然)



私の教員生活は、千葉県私立高校から始まりました。二年間の短い期間ではありましたが、多くのことを学ぶことができました。

その後、教員採用試験を受け直し、昭和五十六年の神田高校をスタートに、大原高校、西湘高校と務めさせていただきました。それぞれが思い出深い勤務となりました。西湘高校では、理数コースの立ち上げや、スーパーサイエンスハイスクール、校舎の改修など、短期間に多種多様な職務をこなす日々が続きました。現在も、再任用で勤務させていただいています。

私の大きな転機は西湘高校からの異動の時でした。異動先は横浜県税事務所でした。内示の直後は、「どうして?」という思いが強く、やっとの思いで心の整理をつけたのが印象に残っています。

横浜県税事務所で過ごした時間はわずか一年でしたが、一生の思い出に残る体験でした。特に印象に残っているのは、川崎競馬のツインクルレースです。競馬を楽しむながら「のみにケーション」を行うなど、学校ではないことです。その後、秦野総合高校、二宮高校、山北高校と管理職として勤務しましたが、その経験が生かされていると思います。

会員の皆様

神奈川茗溪会
会長 矢野正人

神奈川茗溪会の総会と懇親会のご案内

青葉若葉のみぎり、会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のほどお喜び申し上げます。

さて、神奈川茗溪会の総会と懇親会を、下記の要領で開催いたしますので、どうぞ、お誘いあわせの上、奮ってご参集くださるようご案内申し上げます。

開催日時 平成30年7月28日(土) 11:00～(受付 10:45)

開催場所 ローズホテル横浜 (☎ 045-681-3311)

●JR根岸線「石川町(北口)」より徒歩10分

●みなのみらい線「元町・中華街駅」より徒歩1分

<http://www.rosehotelyokohama.com/content/access>

日程 総会 11:00～12:00 宴会場(2階)

講演会 12:00～13:00 宴会場(2階)

野中忠彦氏(s41 教大物)「日本初の大型ロケット打ち上げクルーの一員として」

懇親会: 13:15～15:30 ボール・ルーム(2階)

※参加人数により、会場が変更となる場合がございます。

懇親会費等 懇親会費等 10,000円(支部会費1,000円を含みます。)

※当日、受付にて申し受けます。

※本部会費(3,500円)の納入も受け付けております。

●ご出欠席の返信 7月5日(木)までに、返信用はがきにてお知らせください。

●支部会費納入のお願い 当日ご参加できない方は、同封の払い込み用紙にて支部会費(1,000円/年)を納入くださるようお願い申し上げます。なお、ご夫妻で会員の方につきましては、ご案内を1通とさせていただきます。ご了承ください(支部会費はお一人分で結構でございます)。

○ご不明の点は、事務局、または以下の地区委員までお問い合わせください。

○住所変更や不明会員の情報などありましたら、事務局または地区委員までお知らせください。

事務局長 加藤 充洋 (s56 筑一社) 090-1618-6152 katosan.medoved@icloud.com

川崎地区【川崎市】

委員 西村 宗一郎 (s51 教大植) 045-362-7010

委員 南 敏章 (s52 教大数) 045-945-2086

横浜地区【横浜市】

委員 佐々木 悦子 (s46 教大体) 045-784-0670

委員 望月 正大 (s51 教大数) 045-812-0281

横三・湘鎌地区【横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、三浦郡、茅ヶ崎市、藤沢市、高座郡】

委員 鈴木 彰 (s49 教大地) 0467-52-5354

委員 瀬木 明 (s52 教大応数) 090-1040-3612

平秦・西湘地区【平塚市、小田原市、中郡、足柄上郡、足柄下郡、南足柄市、秦野市、伊勢原市】

委員 細谷 俊一 (s47 教大生化工) 0465-77-2046

委員 山田和彦 (s53 教大農) 0462-88-1504

北相地区【厚木市、海老名市、綾瀬市、大和市、座間市、相模原市、愛甲郡、神奈川県外】

委員 大島 恵子 (s46 教大植) 042-715-0317

委員 本木 幹雄 (s50 教大体健) 090-3817-3402